

平成27年度総会・全国研究集会の日程

平成27年6月8日現在

期 日：平成27年6月22日（月）・6月23日（火）

会 場：機械振興会館（東京都港区芝公園3-5-8）

共 催：（一財）機械振興協会

後 援：国立国会図書館、（公社）日本図書館協会、国立研究開発法人科学技術振興機構、（一社）情報科学技術協会

時 間	事 項	行 事 内 容	会 場	
理事会・総会				
11:10~11:50	理事会		5S-2会議室	
13:00~13:20	総会受付		B2ホール	
13:20~14:20	総会・表彰式			
全国研究集会				
総合テーマ『未来に続く専門図書館を目指して』				
<p>専門図書館協会は一元化を踏まえ、専門図書館界のプラットフォームとなるべく活動を進めています。専門図書館界を取り巻く状況は日々刻々と変化しています。専門図書館には、常に社会環境や情報環境の変化に即応した運営が求められており、専門図書館員のあり方や新たな情報資源への対応など課題は山積です。</p> <p>そうした中、専門図書館の未来につながる胎動は始まっています。全国研では、多様な課題を解決するためになるさまざまなテーマを研究・検討し、未来への入り口を探し出します。</p> <p>ぜひ多くの専門図書館関係者が参加し、ともに考えるための研究集会を作り上げましょう。</p>				
6 月 22 日 (月)	14:40~15:10	開会式	開会挨拶 中村理事長 共催者挨拶 （一財）機械振興協会 経済研究所 所長 来賓挨拶 国立国会図書館 館長 （公社）日本図書館協会 理事長 メッセージ 米国専門図書館協会(SLA) 韓国専門図書館協議会(KSLA)	B2ホール
	15:10~15:40	協賛会社 メッセージ	丸善(株)、(株)ブレインテック、日経BP社	
	15:40~15:50	休 憩		
	15:50~17:20	記念講演	山形 浩生氏 （翻訳家・評論家） 「ピケティ『21世紀の資本』と日本への示唆」 ポール・クルーグマン教授（プリンストン大学）をして「本年で、いや、この10年で、最も重要な経済学書になると言っても過言ではない」と言わしめた『21世紀の資本』の日本語版の翻訳者であり評論家の山形浩生氏が同書を読み解きます。	
	17:20~17:30	休 憩	会場移動	
	17:30~19:00	交流会	会員相互と協賛会社との交流の場	

時 間	行 事 内 容		
	第1分科会	第2分科会	第3分科会
9:30 ～ 11:30	専門職業人のための 情報リテラシー支援	震災記録とデジタルアーカイブス	どうなる著作権、企業図書館の 現場から考える
	「専門職業人のための学術情報 リテラシー支援とその効果」 中央大学学事部学事課 梅澤 貴典 氏	①「東京電力福島第一原子力発 電所事故関連情報アーカイブ 化への取組について」 国立研究開発法人日本原子力 研究開発機構 米澤 稔 氏 ②「国立国会図書館東日本大震災 アーカイブひなぎくの取組」 国立国会図書館電子情報部主 任司書 諏訪 康子 氏	①「企業内学術著作権処理の現状 と今後」 電気化学工業株式会社 渡辺 喜代美 氏 ②「NECグループ図書館の現状 と今後」 株式会社日本電気特許技術情報 センター 新倉 弘幸 氏 ③「新聞社資料部門の現場からー 著作権に関するいくつかのトピ ックと共に」 朝日新聞社 藤本 亮司 氏
11:30 ～ 13:00	昼 食		
13:00 ～ 16:00	第4分科会	第5分科会	第6分科会
	ビジネスライブラリーの これから	オープンサイエンスと 研究データ公開	専門図書館員のためのディスカバ リーサービス講座：活用と課題
① 「歴史コミュニケーション と企業資料」 渋沢栄一記念財団情報資源 センター 松崎 裕子 氏 ② 「ゼロから生み出したサー ビスを広める方法～会員制 図書館を3年続けて伝えら れること～」 ビズライブラリー 福岡 南海子 氏 ③ 「専門図書館と公共図書館 の連携が生み出すもの」 鳥取県立図書館 小林 隆志 氏	① 「オープンサイエンスと研 究データのこれから」 科学技術動向研究センター 林 和弘 氏 ② 「東寺百合文書のデジタル化と ウェブ公開」 京都府立総合資料館 小森 浩一 氏 ③ 「研究データの発信に向け て：『ホームページによる情 報発信』の次を考える」 国立研究開発法人国際農林 水産業研究センター 林 賢紀 氏	① 「ウェブスケールディスカバ リとは何か」 佛教大学図書館 飯野 勝則 氏 ② 「ディスカバリーサービスの導 入経過と現状。そして可能性」 立命館大学図書館 安東 正玄 氏	

6
月
23
日

(火)